

新規実施項目のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、新たに下記の項目を受託開始しますのでご案内いたします。
ご利用いただきますよう、お願い申し上げます。

記

■実施日 令和元年 8月 1日（木）ご依頼分より

■新規実施項目

項目コード	検査項目	検査方法	基準範囲 (単位)	検体量 (mL)	容器	保存	所要 日数	実施料	判断料
1841-23	マイコプラズマニュー モニEDNA 定性 [QProbe]	PCR (QProbe)	陰性	咽頭 ぬぐい 液	r	冷蔵	2~5	300	150 (微生物)

備考：他項目との重複依頼は避けてください。

本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては
取り扱いに充分ご注意ください。

詳細については裏面をご覧ください。

●マイコプラズマニューモニエ DNA 定性〔QProbe〕

M. ニューモニエ DNA の検出に加え、23S rRNA 遺伝子の変異の有無をご報告いたします。

マイコプラズマ ニューモニエ (Mycoplasma pneumoniae) は、非定型肺炎の代表的な原因菌であり、小児を中心とした幅広い年齢層に感染し、マイコプラズマ肺炎を引き起こします。治療においては、第一選択薬としてマクロライド系抗菌薬が広く使用されています。

近年、日本ではマイコプラズマ ニューモニエのマクロライド系抗菌薬に対する耐性菌の増加が報告されています。マクロライド耐性化には、23S rRNA 遺伝子が関与しており、2063 番目あるいは 2064 番目の塩基に変異が生じた場合、耐性を示すことが明らかとなっています。

本検査は、QProbe 法により、咽頭ぬぐい液中のマイコプラズマ ニューモニエ DNA を検出する定性検査です。併せて、23S rRNA 遺伝子の 2063 番目または 2064 番目の塩基における変異の有無をご報告いたします。

特に急性期におけるマイコプラズマ感染の診断補助にお役立てください。

▼疾患との関連

マイコプラズマ肺炎

▼関連する主な検査項目

マイコプラズマニューモニエ〔CF〕
マイコプラズマニューモニエ〔PA〕

〔陽性時の報告書見本〕

検査項目	結果
M. ニューモニエ DNA 定性 (QProbe)	
判定	陽性(+)
23SrRNA	野生型

検査項目	結果
M. ニューモニエ DNA 定性 (QProbe)	
判定	陽性(+)
23SrRNA	変異型

* 野生型はマクロライド感受性、変異型はマクロライド耐性化の菌です。